

2016年 4 月 25 日

助成事業実施報告書

団体名..... 特定非営利活動法人子どもセンターてんぼ
代表者・役職名 氏名..... 理事長..... 影山秀人

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

みずきの家利用者生活支援事業(LAP)の交流活動推進事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成 18 年に特定非営利活動法人として「子どもシェルター」の活動を始め、平成 22 年 6 月に自立援助ホームみずきの家(女子定員 6 名)を設立しました。NPO 法人の会員数(平成 28 年 4 月 5 日時点)は正会員 228 名、賛助会員 186 名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームを退所した元利用者のほとんどは頼れる保護者、親族がないため、自立生活を続けるうちに様々な困難を抱え込んでいきます。その寄り添なさは他者に対する不信感や不安感を増大させ、社会的な生活の破たんを招き、薬物依存、自傷行為等によって心身ともに傷つく状況を生み出していきます。

そうならないために、ホームや他者とのつながりを強化し、お互いを支え合うことが欠かせません。元利用者、現利用者のつながりを実感する機会を増やすために、交流事業を企画しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

年 6 回の交流事業を企画し、元利用者と現利用者のつながりを深めるために活動しました。

①宿泊交流会=東京ディズニーランドと浅草探訪 ②日帰り旅行=いちご狩り ③他 5 回の交流活動として

* 設立記念行事の夕食会 * バーベキュー * お祭り * クリスマス会 * お花見会 を実施しました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

(結果)実施回数 7 回:「五周年記念夕食会」参加者 13 名 「バーベキュー」参加者 15 名 「金太郎まつり」参加者 8 名 「宿泊旅行」参加者 9 名 「クリスマス会」参加者 14 名 「いちご狩り」参加者 16 名 「花見会」参加者 12 名 (成果)参加している元利用者と現利用者の関りが増えています。例えば、買い物と一緒に行く、お互いの誕生日にプレゼントをする等。(効果)今後、時間をかけてお互いを助け合える関係ができることを希望しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

平成 27 年度、季節ごとの行事を計画して利用者がつながる機会を提供できたことは大きな経験になりました。交流事業のお知らせを送るだけでも『つながる』意図が元利用者に伝わりますし、参加できれば関係の広がりはもちろん、楽しい体験としての意味も残ります。参加できなかった元利用者の個別の関りを考えるきっかけ作りにもなりました。これからもお互いを支え合うきっかけ作りとして交流事業を展開したいと思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



五周年記念夕食会 (2015年6月6日)



お花見会 (2016年3月26日)